

i 大雪等で農業施設に被害があった方へ

令和2年12月14日から令和3年3月31日までの間に、大雪等の自然災害により農業用施設に全半壊の被害があった方を対象に、被害施設の撤去、再建、復旧にかかる費用の一部を補助し支援します。

◆対象者

○町内に住所を有する農業者

○本人・世帯に町税の滞納がない方

◆対象施設

○ビニールハウス

○畜舎、堆肥舎

○果樹、樹体

※販売（販売先、販売方法は問わない）を目的とした施設であれば品目は問いません。なお、家庭菜園用、農舎、資材置場、作業用倉庫、ビニールのみの破損は対象外です。

◆補助金額

○被災施設の撤去費用、再建、復旧費用の $\frac{1}{2}$ （いずれも上限があります）
※農業共済加入施設の場合は共済金受領額、農業共済未加入施設の場合は復旧費の30%を控除します。

☎ 農林水産課

☎ 0858・58・6116

i 行政に関する相談や要望を行政相談委員がお受けします

行政相談委員は、本年4月1日付で委嘱替え（任期2年）が行われ、引き続き、次の方が委嘱されました。



門脇英之さん (大山)



松岡久美子さん (名和)



手島孝人さん (中山)

行政相談委員は総務大臣から委嘱され、無償で皆さんから行政サービスへの要望や暮らしの困りごとをお聴きし、解決のための助言や、関係機関への連絡を行っています。毎月行う行政相談の日程は、広報だいせん等でお知らせします。

☎ 総務省鳥取行政監視行政相談センター
☎ 0857・24・5541

国指定重要文化財「鉄製厨子」が修理から戻ってきました

「鉄製厨子」は、過去の修理部分が劣化し、胴部後補材の亀裂や銘板表面の剥離が見られました。

そのため、平成31年から2年かかりで、奈良市の公益財団法人元興寺文化財研究所で、保存修理が行われてきました。

修理では、進行性の錆の除去や亀裂部分の固定及び表面の復元等が行われ、このたび、大山寺宝物館「霊宝閣」に納められました。



胴部の接合箇所を修理する様子（※）
※（公財）元興寺文化財研究所撮影

鉄製厨子

現存する三枚の銘板に記録された銘文から、承安元年（1171）に大山寺が火災に遭い、翌年に紀成盛により、地藏尊とともに大山寺に奉納されたことがわかっています。



▲鉄製厨子（※）

厨子の構成は、反花を持つ台座の上に円筒形の胴部を据え、その上に火焰宝珠を頂く蓋が載るものです。胴部と銘板にある穴から、銘板は胴部に貼られていたものと考えられます。

これまでに、少なくとも三度の火災に遭い、胴部は十六片に分かれましたが、過去の修理により一体となり、今に伝わっているものです。

霊宝閣（4月から11月まで、開館）は、鉄製厨子の他にも重要文化財の金銅製仏像四躯など大山寺の宝物が展示されていますので、ぜひご鑑賞ください。

☎ 観光課・文化財室

☎ 0859・53・3136